



最優秀賞の表彰を受ける美方高新聞部
= 7日、福井新聞社・プレス21

県学校新聞コンクール

美方高など表彰

本社で式典



県内高校の新聞部が競う「第55回県学校新聞コンクール」(福井新聞社、県高文連新聞部会共催)の表彰式が7日、福井新聞社・プレス21で行われ、最優秀賞

の美方高新聞部などをたたえた。入賞校の新聞は8、11日に福井新聞社エントランスロビーで展示される。美方高のほか、優秀賞の北陸高、奨励賞の金津高、特別賞の藤島高の部員らが出席し賞状などを受け取った。美方高の渡辺治紀さん(3年)は「どんな内容が読まれるかを大切にしたい。後輩にも読者の気持ちを考えてよう伝えたい」と話した。

県高文連新聞部会の福嶋洋之部会長(鯖江高校長)は、新型コロナウイルス感染症に関する報道を挙げ「新聞を通してコロナ禍を乗り越えるための知識や意欲を得た。新聞部員として誇りを持ち、生徒に考えるきっかけを届け、新聞で伝えることを楽しんでほしい」とあいさつした。審査員を代表し、福井新聞社の川塚康弘編集局次長が、記事の内容やレイアウトなど入賞校の特長を解説し、今後に向けたアドバイスを送った。美方高は、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う休校期間にウ

エブ上に掲載した号外を含め計12号を発行。休校中の学校や教職員の様子、コロ

ナ禍の中での変化など幅広い話題を取り上げた。(西脇和宏)